未来に挑む　自分を創る

警固屋学園授業メソッド

主体的に学び合う児童生徒の育成

～「協働的な学びの場」と「振り返り」を大切にした表現したくなる授業づくり～

導入

前時の振り返り・めあての設定

展開

協働的な学び

個人思考⇔集団思考⇔個人再思考

終末

まとめ

振り返り

自己肯定感の向上

前時からの発信

あれ？おや？はて？
わからない　できない
〇〇を学びたい

既有の経験，知識との「ずれ」を共有
単元計画の確認
めあての確認・設定

ファシリテート

どうすれば…
こうかな　できるかな
わかりそう　できそう

「？が！」を「！が？」にする展開
思考を促す発問

多様な経験，考え方との出会い

例えば　つまり
たしかに　なるほど
そうか　いいね
どうかな　どういうこと

聴く　話す（対話）

わかった！できた！
もっとやってみたい！
表現したい！伝えたい！

個人思考の場の設定

集団思考の目的を明確化
意図的な支援
ペア　グループ　全体

ゆさぶりや新たな視点によるファシリテート

「本当にそうかな？」
「だいじょうぶかな？」
「これでよいのかな？」
「どうしようかな？」
「できるかな？」

知りたいことがわかった
〇〇ができるようになった

安心と自信

□□してわかるようになった
△△してできるようになった
次は〇〇をやってみたい！
新たな
あれ？　おや？　はて？

解決までのプロセスを振り返る場の設定

次時の計画または実生活との関連性などから新たな「ずれ」を確認

新たな「ずれ」
次への意欲

ICTの効果的な活用